

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

夢×みらいのいえ

グループの名称

夢×みらいラボ

直近採択グループ番号

06-0564-0714

(グループ代表者)

代表者名	近本 道雄	代表者印
代表者所属先	レグルス株式会社	
代表者所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通2-4-20 パール福岡703	
代表者電話番号	092-737-8876	

(グループ事務局)

事務局事業者名	レグルス株式会社	
事務局担当者名	松田 佳子	印
事務局郵便番号	810-0004	
事務局所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通2-4-20 パール福岡703	
事務局電話番号	092-737-8876	
事務局FAX	092-737-8875	
事務局担当者E-mail	info@regulus-ar.jp	


B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		160	棟			
					6720	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		5	棟			
					210	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	事務局への申込み先着順								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	23	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	1	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	175	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 夢×みらいのいえ	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県、山口県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 夢×みらいラボ	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0564-0714	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・九州地方は、本土大部分が属している温暖な太平洋気候に属しており、世界最大級のカルデラを有する阿蘇山や世界遺産に登録された屋久島など、豊かで変化に富んだ美しい自然環境に恵まれているため、気候、景観を活かした住宅とする。 ・梅雨期から夏季にかけて高温多湿な気候であり、集中豪雨や台風襲来地帯でもあるため、洪水、高潮、土砂災害が多く発生するので、それらの気候・風土等に合った住まいとする。 ・「平成28年熊本地震」を教訓に、今後ますます耐震化性能の確保が重要となると考えられるので、地盤状況や免震及び制震性能も考慮しつつ確実に耐震化を図り、自然災害への一層の備えをした安全・安心な生活が確保される住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・主要構造部等の一般材に、九州一円から建設地の気候・風土に根差した材木を選定し、住宅づくりをおこなう。 ・梅雨期から夏季にかけて高温多湿となる気候のため、断熱・遮熱を考慮した素材を取り入れ設計する。 ・湿気対策として、空調機も重要な要素の一つだが、2次エネルギーの利用は最小限に抑え、高気密にし、その内容に即した換気計画をした住宅にする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・住宅内部はもちろん、通気や断熱性等の性能を高めて、環境配慮と快適さをもったデザインとする。 ・地域独自の素材を感じられる、ぬくもりのある家づくりをデザインに盛り込む。 ・窓の大きさ、位置、屋根の向き、庇の長さなどを、季節による太陽の位置や角度を考慮した設計手法を取り入れ、居心地の良い家となるよう設計する。	◎
④①～③の背景	・本グループは、原供給事業者から施工事業者まで幅広く参加しているため、九州各地の材料供給から施工まで、その地域気候風土にあった住宅を、安定的かつ継続的に提供することが可能である。そのため、質の高い家づくりを実現できる環境が整っている。 ・地域材は輸送距離も短く、輸送に伴う消費エネルギーも少なくでき、また、無垢材を構造材に採用することで製造に伴う消費エネルギーも少なくできる。廃棄時には古材としてのリサイクルも可能であり、土に戻すこともでき、環境に優しい家づくりに繋がる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・時代の変化、価値観の変化、機能の変化など、居住者の様々な変化に対応できるフレキシブルでサステナブルな住宅を創り、居住者と共に美しく時を重ねる家にする。 ・これまでの事業の実施経験を活かし、上記の様々な変化に対応できるよう向上心をもって住宅供給を行う。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域や住宅に応じて、極力グループ事務局の様式を用いる。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材メーカー・流通業者と情報共有し、住宅に一定の性能基準を確保できる高性能建材の安定供給を目指す。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 公共建築木造工事標準仕様書等を基に特記仕様書を作成し、設計と施工で共有化を図り、グループ内の意識を高めるとともに、施工基準の統一化をはかる。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材・資材調達については、極力グループ内流通業者からとし、建材・資材の流通の安定化を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 調達箇所の集約化により事務作業の合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内勉強会を開催、生産の合理化等に向けて、意見交換・検討を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が中心となって、材料の選定や施工基準の統一を、図面とともに、グループ内の勉強会を開催し、情報発信を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準仕様書に記載し、管理している。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準仕様書チェックリストを、より一層の周知を徹底する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の流通業者、業者に見積・積算についてグループ内で勉強会を行い、共通ルールを共有化する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内勉強会で情報共有し、現場・施主の意見や要望等をフィードバックし、信頼性の向上に努める。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 極力導入している。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 能力評価制度を策定する。さらに、能力評価制度の検討結果を踏まえ、高い技能・経験を有する者に対する賃金等の評価を行う。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 加入している。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 健康診断を年1回行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	標準仕様書の徹底とグループ内勉強会での情報共有を行い、原供給から施工までの一連の流れを明確にすることで、作業の効率化を行い、質の高い住宅供給を行えるようにする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 夢×みらいのいえ	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県、山口県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 夢×みらいラボ	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0564-0714		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の住宅履歴情報を作成し、管理する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 所轄官庁及び民間の情報サービスからデータの蓄積を行い、活用するとともに、グループ構成員に随時情報提供する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: データ化し、継続的に確認出来るようにする。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の「維持保全計画書(30年)」を活用し、6か月・1年・3年、以降、部位ごとの適切なメンテナンス時期に応じて点検を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の「いえカルテ」に則り、適切に補修を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持保全計画書(30年)」を活用し、「いえカルテ」で運用する。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お客様の快適で豊かな住生活を支えるグループ内勉強会を実施。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自分に合った家づくりを行えることの喜びを伝える体験会を実施。	○	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お客様のより良い住生活のためのグループ内勉強会の開催、及び個別相談会の開催。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内における維持管理委員会を設置、「維持保全計画書(30年)」の作成、各検討を行う。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅毎に「いえカルテ」に作成し、継続的に管理を行う。	○	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員が業務を継続できない事由が発生した場合、メンテナンス等に関し業務を引き継ぐことが可能で、実績を基に、適切と思われるグループ構成員を事務局が紹介する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵が発生した場合、グループ構成員内で検証を行い、対処方法の検討を行うと同時に、グループ内で情報共有を行い、他の地域型住宅でも同様の瑕疵が起きていないかチェックを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ内での意見交換会を行い、快適な住生活を営むことを主幹とした「維持保全計画書(30年)」を随時改良し、内容をグループ内に周知する。		○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験工務店による施工技術講習会や現場勉強会を開催し、グループ内で相互に連携を取りながら、グループ全体の技術力向上に努める。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準仕様書チェックリストを活用した検査のルール作りを行う。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準仕様書チェックリストの作成・運用し、確認を行う。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 取得した枠内で、最大限「地域型グリーン化事業」をお客様に提案する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会を定期的に行い、設計手法の共有・事例の発表・意見交換等を行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて、設計・申請・省エネルギー計算等のサポートを行い、グループ全体の合理化を図る。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 17 今年度の参加目標人数 5	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ勉強会で講習会の案内を事務局が行うとともに、勉強会の度に参加状況を確認し、参加促進を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 積極的に所轄官庁及び民間関連講習会への参加し、新たな技術の検討・導入を行う。必要に応じて、専門メーカーとタイアップを行う。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: より良い住空間をつくるために新技術の開発を目指す。必要に応じて学術機関や専門メーカーとタイアップを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ参加者の施工実績、最新の省エネ設備、新建材等の性能を広く告知するため、完成見学会、構造見学会を開き、研修会から設計・工事・完成に至る一連の流れを総合的に情報発信するとともに、内容の検証を行い、技術の蓄積と改善を常に行う。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 夢×みらいのいえ	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県、山口県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 夢×みらいラボ	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0564-0714	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」や「きずな」に重点を置き、様々な工夫を凝らすことで家族や地域とのつながり、伝統の継承が図られるような家づくりを目指す。 ・住宅の性能向上と家の長寿命化を図ることが大切であり、それにより世代や時を超えて住まい続けることを可能にする。 ・安心、快適な住まいづくりはもとより、耐久性・安全性・可変性を考慮する。完成後は定期的に保守点検を行い、大規模な修繕が必要になった際も、住み手の「想い」を形に残して家を継承していく。 ・原木供給から製材、流通、加工、設計、施工までの一連の相互関連をシステム化し、より質の高いすまいを安定的に供給する。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。